

<p>財団法人 8020 推進財団 平成 22 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>	
1. 事業名：	北海道におけるフッ化物洗口による、むし歯有病者率減少の取り組み
2. 申請者名：	会長 伊東 由紀夫
3. 実施組織：	社団法人 空知歯科医師会
4. 事業の概要：	<p>北海道での 3 歳児、12 歳児のむし歯数は共に全国平均を上回っており、常にワースト 3～5 位くらいに位置している。</p> <p>特にここ空知地区は北海道の中でもむし歯多発傾向にある地区である。</p> <p>このような状況を改善すべく昨年の 6 月に北海道では「歯・口腔の健康づくり 8020 推進条例」を制定し、その中に学校の中でのフッ化物での洗口が位置づけられた。</p> <p>そのため学校の中で、有効性が最も確立されているフッ化物洗口の普及を広める事で、むし歯有病者率を下がる事を期待される。</p> <p>そのため、フッ化物洗口に関する各種普及啓発活動を実施する。</p>
5. 事業の内容：	<p>①フッ化物及びフッ化物洗口の安全性や活用方法等の講演会を開催する。</p> <p>②会員及び保健所と連携をし、保育所（園）及び学校で、職員及び父兄を対象にフッ化物及びフッ化物洗口の安全性や課と用方法等の講演会や相談会を実施する。</p> <p>③講演会用資料及び講演会用データー、配布用パンフレット等の作成及び配布。</p> <p>④初年度のフッ素洗口に係る経費（溶解タンク・洗口剤等）の一部支給をする。</p> <p>⑤第 34 回むし歯予防全国大会を北海道で開催し、フッ化物の有効性を道民にアピールする。</p> <p>⑥会員と一般市民に対して、おやつ作りを通して、食べ方、その後のむし歯予防についてのイベントを行う。</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<p>フッ化物によるむし歯予防を主題として「むし歯予防全国大会 in 札幌」では、約 300 名の歯科関係者及び、行政関係者などが集まり、フッ化物の効果、安全性について報告された。その結果一昨年制定された、北海道での「北海道 歯・口腔の健康づくり 8020 推進条例」のあと押しもあり、23 年度は、保健所管轄で少なくとも小学校で 1 校以上、24 年度からは全道の小学校でのフッ化物の応用が勧められるように準備している。今後も歯科医師会、行政、父兄などと連携しながら、子供の健康に寄与する活動を行うようにしていきたい。</p>